

今回は、1年生のオンラインセミナー 第15回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第15回 関善光寺

◆寺院

正式名称は「妙祐山宗休寺」という天台宗安楽律法流の寺院で、皆さんには「関善光寺」として親しまれています。子どもの頃、「卍戒壇巡り」を楽しまれた方も見えるのではないのでしょうか。お寺は供養・祈願・葬儀だけでなく、人々の憩いの場でもあります。敷地内に宿坊カフェもあり、地域の方々の在り方と共にあるお寺です。

SDGs	取組中	
------	-----	---



◆オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・私が驚いたのは、住職の全体の仕事の中で、お経を読む時間は10%だということです。お坊さんと言えば、個人宅に行ったり、お寺でお経をひたすら読んで、暇なときはひたすら寺で掃き掃除というイメージだったけど、10%しかお経を読む時間がないということが意外で、とてもびっくりしました。
- ・コロナウイルス感染拡大防止の対策として、オンライン参拝など、最新の技術を町の方々のために使っているということに感心しました。
- ・地域の方々（親世代から子どもの世代まで）から、将来についての相談などを受けていて、年代を問わず憩いの場となっていることがわかった。
- ・高齢の老人ホームから参拝しに来る方々でも参拝しやすいように、裏道から車で入れるようにするなど、地域の方々のことを考えて工夫されていることがわかった。
- ・ほとんどの仕事を1人でしていることに驚きました。お寺の掃除、布教活動など、いろいろなことを1人でやるというのはすごいと思います。また、お寺にテラス席を作

っていることにびっくりしました。

- ・お守りやお賽銭に電子マネーを取り入れていることに驚いた。
- ・境内でマルシェやフリーマーケットを行ったり、キッチンカーを置くことによって若い層の参拝客が増えていることがわかった。境内の整備も、いかに気持ちよく参拝できるかを心がけているということで、地域の方々のことを考えた活動がされていると思います。
- ・外国人の観光客への対応として、通訳の人が同伴したり、座禅や戒壇めぐりの体験、パンフレットに英語表記を加えるなどの工夫をしていることに感心しました。